

## 泉崎村まち・ひと・しごと創生《地方創生推進交付金》実績評価シート

平成 29 年度分		担当課	総務課企画財政グループ				
事業名		産業サポート白河を核としたローカルイノベーション創造事業					
事業の概要・目的		<p>しらかわ地域ものづくり企業高度化・海外展開促進事業</p> <p>一般社団法人産業サポート白河の「御用聞き」支援を、より課題解決にこだわった「ハンズオン支援」へ転換し、地域資源や地域産業の強み（金属、電気・電子、食品等）を活かした「ものづくりの高度化」や「海外展開」など、競争力強化に繋がる各種事業及び実施体制整備のための支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業間連携において、企業のグループ化が円滑に進むよう、専従相談員を配置。</li> <li>・専従相談員を中心に、課題解決型ハンズオン支援を展開し、企業のステージに合わせた効果的な支援を実施する。</li> <li>・地元企業の海外展開を実現するため、チャレンジ旺盛な企業を重点的に支援する。</li> <li>・働き方改革の一環として、企業の体質改善を促し、働きやすい職場環境や生産性の向上、新事業に取り組める環境を整備する。</li> <li>・第4次産業革命の到来に備え、女性や若者を中心に IT 関連の起業支援を強化する。</li> </ul>					
最終予算額		20,556,000 円（村分：926,000 円）	決算額	20,556,000 円（926,000 円）			
目標事項 ・進捗状況	目標事項	県南地域の製造品出荷額（億円）					
	K P I 1	8,623 億円→9,000 億円					
	現状値	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	備考
	数 値	8,623	8,149				
達成率	—	0%					
目標事項 ・進捗状況	目標事項	県南地域の就業者数（人）					
	K P I 2	21,108 人→22,000 人					
	現状値	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	備考
	数 値	21,108	21,904				
達成率	—	89%					
目標事項 ・進捗状況	目標事項	海外企業との商談件数（件）					
	K P I 3	0 件→12 件					
	現状値	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	備考
	数 値	0	1	15			
達成率	—	8%	125%				
事業の概要	計画（P）	<p>①企業グループによる取組支援</p> <p>他地域にない産業競争力強化のモデルとして他の産業分野へ波及させる。白河素形材ヴァレーの目標である圏域内受注一括生産体制や海外進出実現への支援、人材育成の取組等を支援。</p> <p>②電子回路基盤製造・輸出関連産業グループへの支援</p> <p>グループ補助金で組織された電気・電子分野での業種間連携を牽引・強化。各社が保有する強みを引き出し、再エネ、医療等新分野進出を支援。</p> <p>③農業と食品加工業の連携による地域産業の底上げ（食品分野）</p> <p>地元の食品加工業者が農家と連携し、原材料の現地調達、地元農産物を活用した加工商品の開発、未利用材の利活用商品の研究・開発などを支援。地域産業の課題解決等（農業所得向上・耕作放棄地対策、起業・創業促進）に繋がる「農商工連携のモデル」を構築し地域産業の底上げを図る。</p>					

<p>具体的な取組</p>	<p>実施(D)</p>	<p>●しらかわ地域ものづくり高度化・海外展開促進事業（委託料）【26,000千円】 産業サポート白河の「御用聞き」支援を、より課題解決にこだわった専門家によるきめ細やかな支援（伴走型支援）を展開し、地域資源や地域産業の強み（金属、電気・電子、食品等）を活かした「ものづくりの高度化」や「海外展開」など、競争力強化に繋がる各種事業及び実施体制整備し、専従相談員による課題解決型ハンズオン支援を展開。企業のステージに合わせた効果的な支援を引き続き実施する。</p> <p>○委託料内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業促進支援【5,000千円】 昨年度に引き続き、新分野進出や新商品・サービス開発、企業間連携など新事業の促進に繋がる中小企業や創業希望者の事業化に向けた取組みを支援するなど、技術力や発想力に優れた、意欲のある企業・個人を重点的に支援する。また、年2回大規模見本市（システムコントロールフェア、国際カーエレクトロニクス技術展）等に共同出展することにより、海外展開を視野に入れた支援を行う。</li> <li>・経営高度化支援【7,500千円】 引き続き企業経営コンサルティングによる課題抽出等を行い、従業員がより働きやすい職場を目指すとともに、より効率のよい職場環境づくりが行われるよう支援を行う。併せて企業経営改善指導や企業経営者への啓発活動等を行うことにより、働きやすい職場環境や生産性の向上を実現し、魅力ある職場の育成支援を行う。また、企業の技術力向上に資する産業技術高度化講習を新たに追加し、地元企業の底上げを図る。</li> <li>・その他【13,500千円】（人件費【10,000千円】、一般管理費【3,500千円】） 産業サポート白河において、働き方改革に関するコーディネーターを1名雇い、よりきめ細やかな支援を行う。</li> </ul>		
<p>29年度</p>	<p>評価(C)</p>	<p>29年度評価</p> <table border="1" data-bbox="408 1151 1449 1429"> <tr> <td data-bbox="408 1151 536 1227"> <p>担当課 評価</p> </td> <td data-bbox="536 1151 1449 1429"> <p>県南地域の製造品出荷額及び県南地域の就業者数については、工業統計調査の数値を用いており、平成29年の調査結果（平成28年1月～12月）が平成30年8月に公表された。なお、平成29年の実績値については、平成30年の調査結果（平成29年1月～12月）の公表後（平成31年8月頃）にあらためて実績値及び達成度合いを回答する。 県南地域の製造品出荷額が未達成となったのは、中小企業の人手不足も有り、生産活動が消極的となっていることが要因と思われる。</p> </td> </tr> </table>	<p>担当課 評価</p>	<p>県南地域の製造品出荷額及び県南地域の就業者数については、工業統計調査の数値を用いており、平成29年の調査結果（平成28年1月～12月）が平成30年8月に公表された。なお、平成29年の実績値については、平成30年の調査結果（平成29年1月～12月）の公表後（平成31年8月頃）にあらためて実績値及び達成度合いを回答する。 県南地域の製造品出荷額が未達成となったのは、中小企業の人手不足も有り、生産活動が消極的となっていることが要因と思われる。</p>
<p>担当課 評価</p>	<p>県南地域の製造品出荷額及び県南地域の就業者数については、工業統計調査の数値を用いており、平成29年の調査結果（平成28年1月～12月）が平成30年8月に公表された。なお、平成29年の実績値については、平成30年の調査結果（平成29年1月～12月）の公表後（平成31年8月頃）にあらためて実績値及び達成度合いを回答する。 県南地域の製造品出荷額が未達成となったのは、中小企業の人手不足も有り、生産活動が消極的となっていることが要因と思われる。</p>			
	<p>改善(A)</p>	<p>30年度における取り組みなど</p> <p>これまで支援が行き届かなかった中小企業支援を充実させ、企業からの出資を増やすことが必要。</p>		
	<p>委員会意見</p>	<p>評価等に対する意見</p> <table border="1" data-bbox="408 1630 1449 1787"> <tr> <td data-bbox="408 1630 536 1706"> <p>委員会 評価</p> </td> <td data-bbox="536 1630 1449 1787"> <p>総合戦略のKPI達成に有効であった。</p> </td> </tr> </table> <p>B</p>	<p>委員会 評価</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった。</p>
<p>委員会 評価</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった。</p>			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。